

様式 3

議事録

全部記録 要点記録

1. 会議名 第1回姫路市地域公共交通会議 離島航路分科会	
2. 開催日時 令和2年7月28日（火曜日） 午前10時00～11時20分	
3. 姫路ポートセンタービル5階 503号室	
4. 出席者名	
出席者 委員	池田一憲、池田田鶴、内山雅史、大原尚、岸本成喜、喜多秀行、小林正和、土谷穰、富田慶一、畑野長利、福田弁一郎、植田敏勝、（50音順 敬称略）
オブザーバ	豊永雅一
事務局(交通計画室)	植田室長、池内主幹、松本課長補佐、苅山係長、市村係長、大西技術主任、谷口主任、川上主事補
5. 傍聴の可否及び傍聴人数 傍聴可、傍聴人 1名	
6. 議題	
【審議事項】	
(1) 令和2年度事業計画について	
(2) 令和2年度予算案について	
(3) 姫路港～坊勢島航路調査事業について	
(4) その他	
7. 会議の全部内容または進行記録	
事務局	<p>只今より、「令和2年度第1回 姫路市地域公共交通会議 離島航路分科会」を開催致します。</p> <p>本分科会の開催には、「姫路市地域公共交通会議 離島航路分科会規約」第7条第2項の規定により、委員総数の半数以上の出席が必要とされております。本日は、委員14名中、半数以上の12名の出席を頂いておりますので、本会議が成立していることをご報告させていただきます。また、会議は、本分科会規約第7条第5項の規定により、公開することとなっておりますので、ご了承頂きますようお願い致します。</p> <p>本分科会規約第6条第2項及び第7条の規定に基づき、姫路市都市局交通計画室長を会長とし、会長が議長となることとしております。それでは、会議の進行につきまして、植田会長よろしくお願い致します。</p>
議長	<p>本日は、お忙しい中、本分科会にご出席を頂きまして、誠にありがとうございます。会議次第に沿って、進行させていただきます。それでは、会議次第「3 審議事項」の</p> <p>「(1)令和2年度事業計画について」</p> <p>「(2)令和2年度予算案について」</p>

事務局	事務局より説明をお願いします。 【事務局説明】 (監査委員の選任を含む)
議長	只今の事務局からの説明につきまして、何か、ご意見・ご質問等はありませんか。 無いようですので審議事項について、お諮りします。原案どおり、承認としてよろしいか。 「異議なし」の声 「異議なし」の声を頂きましたので、原案どおり、承認とさせていただきます。 次に「3 審議事項」 「(3) 姫路港～坊勢島航路調査事業について」 事務局より説明をお願いします。
事務局	【事務局説明】
議長	只今の事務局からの説明につきまして、何か、ご意見・ご質問等はありませんか。
委員	業務計画について、どのようなイメージで計画期間はどれくらいなのか、何を目的とするのかを説明して頂きたい。何を知るために何がわからなくてどういうやり方でそれを明らかにしようとするのかがわからない。もちろん細かいところはこれからだが、こういう計画に仕上げたいというイメージができていて、それに対してここがわからないので確認する必要があるとか、これはどちらかわからないのでそれに応じてやり方を選ぶことにしようという経緯でこの計画の素案ができているのだと思うが、その説明をお願いしたい。
事務局	これまで島民の皆様も我々も感覚的にわかっているところがあると思うが、実態を数値として浮き彫りにしていくところも必要ではないか、それらを計画に落とし込んでいくことが目的。期間については、過去2年間、平成30年と31年の坊勢汽船と輝観光の2社で運航されていた航路実績について、当時はそれぞれ7便ずつ1日14便で運航していたが、事業規模も違うので、新会社になったことによる航路状況、また、それに伴う経緯も含めしっかりと把握していきたい。これから運航できる可能性

	<p>を少しでも高めていくための計画を今年度中に、島民の人口減少率など見据えつつ末永く運航できるようにしていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>肌で感じていることの裏を取りたいという説明だったが、別途特記仕様書を作られるかどうか分からないが、定量的な情報で確認することを明記するのがいいのではないか。調査をやったが、結果的に計画に生かされず、それはさておきみたいな計画ができてしまうのはもったいないので、このためにこのように調べてほしいという形で業者に委託されるのがよいのではないか。また計画期間は2年間だったが、2年先まで見て計画を立てると、例えば5年、10年、中期、長期の計画、将来的なビジョンのもとでまず2年はこのようにしていきたいというのとでは立て方が違うが、どちらなのか。長いビジョンをもって計画を立てるのであればそのビジョンはどのように考えているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>過去の2年間を踏まえつつというところではあるが、2年間という縛りだけではなくて、人口推移、これまでの乗客推移などを含め、見通しを立てていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>確保維持改善計画は単年度の計画なのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現行では、単年度の計画にはなりつつ、将来の見通しについてもその計画の中に落とし込むもので、何年間限定という期間を定めたものではない。</p>
<p>委員</p>	<p>5年後はどうなっているか、10年後はどうなっているかというときに見通しがあるのであって、ある程度期間を決めないと将来の見通しができないのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>目安として5年後、10年後というのは人口推計、乗客推移も含めて落とし込みはさせていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>島民のためになる航路づくりがどういう形でできるのか、運航できるのかといったことからこの単年度の計画をどう立てるかにつながる具体的な道筋を作って、項目も含め発表して頂ければ非常に有益になるのではないか。</p>
<p>議長</p>	<p>今回の改善計画について、長期的、例えば5年、10年、そういった将来の見通し、財務状況、乗客数の目標、あるいは利用促進策、それらは単年度でできる事業ではない</p>

委員	<p>ため、複数年の計画となりつつ、同時に1年間の事業の内容を国に示し、補助を検討頂けるという内容。本計画はあくまでも計画自体は1年間だが、計画の内容については複数年の計画内容、さらにこの離島航路分科会の中で毎年度進捗、成果を報告あるいは審議して頂き国に報告していく。</p> <p>改善計画が出た場合、国は所要審査をさせて頂いてその計画が妥当であるかどうかを審議し、実際の補助金が出るのは計画を立てて頂いた翌年から、国と姫路市が分担しながら赤字部分に係る補填をさせて頂く。計画中には例えば利用促進策として、兵庫県管内では沼島汽船、淡路島と沼島という航路があるが、そちらでは島民割引という島民の方が恩恵を受けられるような割引を実際に行っている。計画について、補助金が出た後に毎年、国と自治体で予算を赤字補填しながら運航して頂くのだが、国としても事業が行われているかどうか評価をさせて頂く。</p>
委員	<p>委員からの説明の中でのポイントは、計画は国で支援するが、妥当であると認められるかどうか。分科会としては、審査はどういう項目についてなされるのか、何がどうであれば妥当だと判断して頂けるのかを支障のない範囲で事前に伺っておきたい。改善策も潤沢にあるわけではないと思われるので、できることを最初の年に出してしまうと、それから次は何ですか、その次はどうですか、あるいは実績はどうですか、と聞かれそうな予告のように聞こえたので、3年なり、5年なりを見据えてこのように変えていこう、そのためにこういうこともわかってないといけないのではないかとというようなシナリオを作っておいたほうが良いのではないかと。</p>
委員	<p>改善計画の中で、企業の見通し、利用者の動向、航路の見通しは当然だが、人口動向はデータの的にみることが出来る。事業者の努力、姫路市の協力によって円滑に2社が1社となり運航しているが、運航事業者が今後どのように事業を運営していくか、改善計画への反映もどのように変わっていくかが大事になってくるのではないかと。例えば当然航路事業者の協力が必要になるが、2社を統合したことで、効率的になったのか等含めて調査をする委託先にはしっかりと把握するよう示して頂きたい。</p>
議長	<p>他にご意見・ご質問等はありませんか。無いようですので審議事項について、お諮りします。原案どおり、承認としてよろしいか。</p> <p>「異議なし」の声</p> <p>「異議なし」の声を頂きましたので、原案どおり、承認とさせていただきます。</p>

	<p>次に、会議次第「(4)その他」となります。事務局より報告がございますので、説明をお願い致します。</p>
事務局	<p>【事務局説明】</p>
議長	<p>姫路市の支援等について、現在感染症拡大防止対策により、1隻あたり5万円を上限に支援していることについて既にホームページにアップしている。また、利用促進策の支援のほか、兵庫県とともに感染拡大防止の支援をさせて頂く。財源としては、国の臨時交付金の一部を使わせて頂く。国交省でも今回のコロナの影響のご支援に関するメニューが用意されているので、事業者の皆様には最大限活用頂きたい。今現在日本モビリティマネジメント協会で、公共交通は非常に密になるなど不安な声が出ているが、公共交通は3つのルールを守れば感染リスクは大きく低減できることを全国的にPRをしている。姫路市としても、①常にしっかり換気、②目・鼻・口は触らない、③お話しするならマスク着用、これらを住民、事業者に接するときPRをさせて頂き、利用者に安心して利用頂ける環境を作り上げていきたい。</p>
委員	<p>一つは姫路市からの様々な補助、支援のほかに、県の支援などをいつまでするのか。来年度以降も類似のことをするとは思いますが、それをぜひ確保維持改善事業の計画に入れたらどうか。事業者任せにするのではなく、地域として万全のバックアップ体制をとり、予算措置もしていると思うので、次年度もされれば多分着実な執行ができ、確保してやりましたということを計画に入れることができ、効果的に盛り込んで頂くと審査される側はなるほどと思える可能性が高いのではないかと。ぜひ最大限活用して計画書を作って頂きたい。もう一つはコロナ対策で、外出自粛によって航路だけでなく、陸上交通事業者も相当厳しい状況に陥っている。別の兵庫県下の自治体の協議会では協議会として地域公共交通をきちんと守りましょう、市民も含めてできることはみんなでやってみようというようなアピールをしたことがある。姫路市や県も、できることはなるべく形にして表して頂くのがよいのではないかと。この協議会の趣旨とは違うかもしれないが、公共交通の崩壊を避けるためにみんなで何ができるかを発信して頂いたらよいのではないかと。</p>
委員	<p>この4月1日から事業統合によりスタートしたが、コロナがなければ本当に計画通りにほぼマイナス要素もなく行けるはずだった。4月・5月かなりのダメージを受けたが、6月は100%までとはいかないものの、採算ペースにのるくらいは入ってきている。今、姫路市で感染者が出たということにより、また影響が出ると今夏に打撃を受け、それが年度末まで影響を及ぼすのではないかと。</p>
委員	<p>国からの持続化給付金について、最大で200万円の給付金を頂けるシステムだが、</p>

	<p>4・5・6月と売り上げがマイナス40%で、基準の50%に届かず数パーセントのところ で国からの補助金を得られなかった。船員にも迷惑をかけ、これから先冬場にかけて コロナ感染が増えるという可能性もあるため、どのように乗り切っていけるか、本当 に先の見通しがきかないくらい不安に陥っている。チャーター便に関しても予約が全 くない状態で最近緊急事態宣言が解除になり、予約が入ったが、またコロナの感染者 数が増え、せっかく入った予約が全てキャンセルになってしまった。定期便だけでは この苦しい状況でやっていけるのかという思いがある。航路は生活の根幹であるた め、それがなければ島民が不便な思いをするし、受け継いできたこの会社を守って いきたい。</p>
議長	<p>坊勢渡船については、5年前に改善計画を策定するために離島航路分科会に諮らせて 頂いた。5年経つので、内容等について事前修正、あるいは対応の見直しをさせて頂 いたうえで、新たなステップということで進めていきたい。</p>
委員	<p>坊勢輝汽船、坊勢渡船、この2つの会社は島民の足で、倒産したら、困るのは島民で ある。できる限り姫路市及び国の支援をお願いしたい。</p>
委員	<p>以前坊勢航路は片道1100円だった。4月1日から値下げを実施されているが、両社と も赤字経営であった故に統合の話が進んだと思っている。その中で値下げということ は住民にとってありがたい話だが、事業改善計画の中で、運賃料金の設定が、統合し たからといって黒字になるとは考えにくい。このコロナの状況では1500円でも妥当 だ、設定できるという話があったらしいが、それは住民に対して不利益になる。調査 をされて、1000円でそのままいけるのかなと疑問に思う。姫路坊勢間は値下げとい う形になったが、坊勢西島間は相当の値上げになったという声を聞いている。片方 では値下げする、片方では値上げする、そういう料金設定にしたことはわからなくな いが、急に値上げされると、痛手になるのではないか。</p>
議長	<p>業務改善計画を策定する中で経営分析であるとか、現状を含めて今後様々な資料に基 づいて議論をさせて頂くことになる。その中で、先ほど委員が指摘された答えについ ても出てくるのではないか。その点についてもしっかりと調査業務を進めていき たい。</p>
委員	<p>家島町は姫路市の中でも一番、二番の高齢化率である。宮区については60歳以上が かなりの人数を占めており、これから将来どうなるのか。今回コミバスでお世話にな っているが、運行の効果、利用人数が全くゼロの日もあるため、姫路市には区民・島 民のために引き続きお願いしたい。</p>

委員	コロナ関係の支援金ということで、観光業を中心に様々な産業があるため、そういった地元の事業の不安に配慮していきたい。
委員	県として協力させて頂きたいと思うので、何かあれば相談頂きたい。
オブザーバ	事業者は大変な状況のため何が出来るか、できるだけ早急にできる限りの支援をしていきたい。離島航路維持改善計画について、どうやって乗客数を増やすのかということは難しい問題で、どこの航路も苦しんでいる状況である。いかに身近に使っていただけるのかについて他の航路での知恵・知見等もあるので、併せて考えていきたい。
委員	地域住民にとって航路というのは永遠に欠かすことのできない大事なものであるため、航路そのものに向けた住民の要望等を速やかにキャッチし、すぐに交通計画室へ情報提供し、これからの航路が末永く存続できるよう精一杯努めてまいりたい。
議長	委員の皆様には、活発なご意見等を賜り、ありがとうございました。
事務局	委員の皆様におかれましては、熱心にご審議を頂きまして、ありがとうございました。本日の審議の結果に基づきまして、必要な手続等を進めてまいりたいと存じます。以上をもちまして令和2年度第1回 姫路市地域公共交通会議 離島航路分科会を終了させて頂きます。委員の皆様のご協力を持ちまして、円滑に議事を進行することができました。ありがとうございました。